

(参考)

都道府県の取組

# 岩手県

## 1. 取組の概要・状況

- ・平成27年度は、県内の林業関係者等を対象に木材輸出に係る情報提供と機運醸成を図るため、「日本産木材輸出の拡大に向けた産地検討会：(一社)日本木材輸出振興協会主催」を盛岡市内で開催。
- ・平成28年度は、「高品質販路開拓支援事業(県単、1,555千円)」により、木材輸出に関するセミナー開催や、中国大連市の展示商談会における県産材PR等を支援。



日本産木材輸出の拡大に向けた産地検討会の様子

## 2. 輸出のターゲット

近年、国産材の輸入量が増加している中国、台湾、韓国等をターゲットとし、岩手県の特徴であるスギ、アカマツ、カラマツ、広葉樹等の多様な樹種による県産製材品の販路開拓を目指す。

## 3. 輸出に向けた取組の成果

- ・原木については、県内の港からバルク船により、中国等へスギ丸太を輸出する取組が出てきた。
- ・製材品について、県内の木材関係企業が中国向けに製品輸出を模索する動きが出てきた。

## 4. 今後の展開

引き続き、木材輸出に係る最新情報の収集やセミナー開催等による県内関係者の意識啓発を図るとともに、木材製品の輸出に先駆的に取り組む県内企業を支援していく。

## 5. 問合せ先

岩手県農林水産部林業振興課  
TEL:019-629-5772

# 岐阜県

## 1. 取組の概要・状況

国産材の輸出量が増加傾向にあるアジア圏を中心に、付加価値の高い県産木材製品の輸出を推進するため、協議会を設置し県内事業者の活動を支援。

### ●岐阜県産材輸出推進協議会

- ・設立：平成27年3月20日
- ・会員：木材関係者、金融機関、関係団体等 41者

### ●活動内容

- ・木材輸出に向けた県内事業者の活動を支援（H28予算10,000千円）
- ・韓国展示会への出展、外国語リーフレットやDVDの作成
- ・韓国の建築士等を対象にした木造軸組住宅セミナーの開催



韓国展示会への出展

## 2. 輸出のターゲット

- ・当面は、ヒノキを主体に国産材の人気が高い韓国を中心に活動を展開。
- ・内装材や調度品など、付加価値の高い製品に加え、近年増加傾向にある木造軸組住宅を普及するため、セミナーや研修を通じて建築技術者の養成。



韓国で開催したセミナーの様子

## 3. 輸出に向けた取組の成果

- ・支援事業などにより、H27は7者、H28は9者が木材輸出に取り組み、韓国には県産材住宅が建設された。
- ・韓国の展示会に県内事業者が積極的に出展し、H28はジェトロのジャパンパビリオンの半分を県内事業者が占めた。
- ・韓国の工務店、設計士等で組織する「韓国木造建築技術協会」との連携を強化し、韓国国内で開催したセミナーでは約100名の参加者に木造軸組構法を普及した。



韓国華城市に建設された  
県産材住宅

## 4. 今後の展開

- ・県内事業者の木材輸出の活動を支援するとともに、協議会において先駆者の実績や手法等を広く共有し、新たに輸出に取り組む事業者を増やす。
- ・海外から住宅建築関係者を岐阜県に招へいし、研修等を通じて技術者を養成するとともに、信頼できるパートナーを獲得する。
- ・海外で県産材をPRできる拠点整備を支援する。

## 5. 問合せ先

岐阜県県産材流通課県産材需要拡大係  
TEL:058-272-8487

# 静岡県

## 1. 取組の概要・状況

### ・県産材輸出研究会の開催

県産材の輸出拡大に向け、平成24年度から県産材輸出研究会を設立し、木材輸出に関心のある県内企業と情報共有や意識醸成を図っている。

〈会 員〉製材、製造業、流通業、素材生産者や行政等 22者

〈平成27年度以降の取組〉

年度	開催回数	内容
H27	3	韓国輸出先進企業の取組把握(外部講師の招聘) 木材輸出の状況把握(外部講師の招聘) 中国・韓国展示会出展結果報告
H28	2	県と県産材輸出研究会が台湾市場調査を実施 現地ニーズを共有

### ・関連事業(平成27年度以降)

年度	事業名	予算額 (輸出関連分)	内容
H27	県産材輸出 促進事業	1,057	2015緑色建築建材博覧会出展(中国) キョンヒャンハウジングフェア2016出展(韓国)
H28	県産材販路 拡大事業	750	台湾市場調査の実施

## 2. 輸出のターゲット

〈中国〉独創性・新規性の高い製品など

〈韓国〉ヒノキ内装材及び独創性・新規性の高い製品など

〈台湾〉ヒノキ内装材など

## 3. 輸出に向けた取組の成果

〈中国〉商社との調整を始める企業が出てきた。

〈韓国〉3社が現地代理店を設け、販路拡大に取り組んでいる。

## 4. 今後の展開

・平成29年度は、台湾に向けた販路拡大に取り組む。

・台湾に向けては、品質が高い県産材製品の利用方法を工夫して提案していく。

## 5. ウェブサイト

・youtubeで静岡県産材を紹介中(韓国語)

[https://youtu.be/-bgcB4V\\_mqg](https://youtu.be/-bgcB4V_mqg)

## 6. 問合せ先

静岡県経済産業部林業振興課県産材利用班

TEL:054-221-2691



2015緑色建築建材博覧会出展(中国)  
日本木材輸出振興協会のジャパンブースに出展



台湾市場調査  
(日本木材輸出振興協会主催 台中商談会)

# 三重県

## 1. 取組の概要・状況

- ・ 中国等における木材需要の増加、韓国におけるヒノキブーム等を背景として取組を実施。
- ・ 平成26年3月に三重県農林水産物・食品輸出促進協議会の設立。
- ・ 県産材輸出促進事業  
予 算 額: H27年度2,570千円、H28年度1,006千円  
事業内容: 上記協議会の行う取組に対する支援  
輸出用原木の選別・仕分け経費に対する補助



コンテナでのヒノキ原木の輸出

## 2. 輸出のターゲット

中国、台湾、韓国を輸出対象国とし、良質材の産地として、A材や付加価値の高い製品の輸出促進に向けて取組を実施。

## 3. 輸出に向けた取組の成果

- ・ 県産材輸出促進事業などにより、県内の事業者2社が輸出用原木の供給を実施。
- ・ 協議会による木材輸出セミナーの開催。
- ・ 海外における木材需要調査の実施。



刻印により良質材産地として認知を図る

## 4. 今後の展開

県産木材の輸出品目は、原木が中心となっており、今後はより付加価値の高い製品の輸出に向けて取組を進めていく。

## 5. 問合せ先

三重県農林水産部 森林・林業経営課 林業経営班  
TEL: 059-224-2563

# 奈良県

## 1. 取組の概要・状況

### 【H27年度】

- ・東アジアのマーケットリサーチ
  - 現地展示会に合わせて市場調査を実施（中国、台湾、韓国）
- ・欧州で開催される大規模な見本市への出展助成



H27 海外マーケットリサーチ  
（左から中国、韓国、台湾）

### 【H28年度】

- ・奈良県の実情に応じた海外販路開拓手法の検討
  - 専門家(アドバイザー)の登用  
県内事業者と国内商社とのマッチング
- ・意欲のある事業者の掘り起こし
  - 木材輸出に特化したセミナーの開催



H28 奈良県木材海外販路開拓  
セミナーの開催

## 2. 輸出のターゲット(品目・強み)

- ・品質の高い内装材、加工品(家具・テーブル板等)
  - 吉野材を代表とする奈良県産材は、色味が綺麗で節が少なく、年輪幅が均一で細かいことから強度に優れる。
- ・環境と調和した持続可能な人工林をPR
  - 500年の歴史を持つ吉野林業（特に、歴史・文化に関心の高い欧州に対して効果的）

## 3. 輸出に向けた取組の成果

### 【H27年度】

- ・木材輸出の現状・課題を把握
  - 契約、商習慣の相違、木材のニーズ等
- ・メゾン・エ・オブジェ(フランス)に出展
  - 吉野材の家具のPR及び販売

### 【H28年度】

- ・県内事業者の海外販路開拓に向けた機運の高まり
  - アドバイザー及び国産材輸出に成功した事業者を講師に迎えたセミナーに130名が参加。



H27 メゾン・エ・オブジェ(フランス)出展の  
様子

## 4. 今後の展開

- ・アドバイザーの指導・助言を軸とした海外販路開拓手法の検討(継続)
- ・海外のバイヤー、現地木材企業、建築関係者等とのネットワークの構築
- ・県内事業者からのニーズが高い海外の木材マーケットの情報収集支援

## 5. ウェブサイト

奈良県公式ホームページ : <http://www.pref.nara.jp/27678.htm>

## 6. 問合せ先

奈良県農林部 奈良の木ブランド課 総務・流通拡大係  
TEL : 0742-27-7470 FAX : 0742-27-2070

# 岡山県

## 1. 取組の概要・状況

岡山県は平成24年から4年連続ヒノキの素材生産量が日本一であり、年々、利用可能な資源量は充実している。一方、国内においては人口減少に起因する住宅着工戸数の減少に伴う木材需要の低迷が懸念されることから、新たな木材需要の創出を目的に、木材の輸出に取り組む木材産業関連団体の取組への支援を行っている。

### 【平成28年度県産ヒノキ販路開拓支援事業】

- ・事業主体：(一社)岡山県木材組合連合会 [正会員：18社、特別賛助会員：4市町]
- ・活動内容：中国、韓国への展示会出展を通じた県産製材品のPR及び商談・セミナー等の開催
- ・県補助額：8,768千円
- ・事業主体：津山市 (実施主体：美作材輸出振興協議会 [会員：17社])
- ・活動内容：韓国でのアンテナショップ設置・運営を通じた県産製材品のPR及び商談
- ・県補助額：2,500千円



副知事によるトップセールス



アンテナショップ内観



韓国展示会出展状況

## 2. 輸出のターゲット

木構造設計規範の改正による日本産木材の需要創出が期待される中国及び健康志向の浸透に伴い、内装材・家具等においてヒノキ人気が高まっている韓国を対象に、より付加価値の高い県産ヒノキ製材品の輸出に向けた取組を行っている。

また、台湾など新たな販路開拓の取組を行うべく、継続した情報収集を行う。

## 3. 輸出に向けた取組の成果

木材産業関連団体が取り組む海外の展示・商談会への出展やセミナー開催に対する支援により、新たに輸出を開始する企業が現れており、展示会への新規出展企業や商談会への参加企業が増えるなど輸出に対する関心の高い企業が増えつつある。

また、今までの支援の成果から、より実践的な情報収集や販路開拓の取組を強化するため、木材産業関連団体が取り組む韓国におけるアンテナショップ出店へも支援を行っており、相手国のニーズを反映した輸出量の増加が見込まれている。

## 4. 今後の展開

特にヒノキに対する人気が高い韓国を対象としたカタログ・PR動画の作成、現地での市場調査やバイヤーへのアンケート調査などを実施し、岡山県産ヒノキの知名度の向上及び現地のニーズへの対応を図ることとしている。

## 5. ウェブサイト

<http://www.pref.okayama.jp/page/487663.html>

## 6. 問合せ先

岡山県林政課 TEL:086-226-7452

# 徳島県

## 1. 取組の概要・状況

県産材増産に対する新たな需要を創出するために、平成28年度には、国立台湾科技大学(台湾台北市)キャンパス内のインフォメーションセンターの新築にあたり、台湾への県産材輸出拡大におけるパートナー企業と連携し、県産材と徳島の大工・建具技術のセット輸出を行った。

当大学では、台湾における木造建築復権の取組として、日本の木造建築技術を取り入れ、技術者の育成に取り組んでおり、建築現場において学生や建築関係者に対し、木造建築技術の伝承に向けた技術講習会を併せて行い県産材をはじめとする徳島県の魅力発信を行った。

整備された施設は「県産材ショールーム」として位置付けており、これまでに、台湾の他、韓国、シンガポールに整備済み。  
※活用事業:H27地方創生加速化交付金(国10/10)



県産材ショールーム



大工による技術講習会in台湾

## 2. 輸出のターゲット

東・東南アジア地域(韓国・台湾・シンガポール)における木造住宅(内装含む)

## 3. 輸出に向けた取組の成果

常設の「県産材ショールーム」が整備され、海外における県産材情報発信・交流拠点が確保できた。

## 4. 今後の展開

これまでに整備された「県産材ショールーム」の活用を図るために、「徳島ならではの」県産材製品等を施設内に常設展示し、体感型施設として利用を促進させるとともに、県産材の魅力発信に向けたシンポジウムを開催し、「徳島ブランド」ファンの獲得を狙うとともに、各国ニーズに応じた販売促進活動を支援する。

## 5. ウェブサイト

現在、開設中(とくしま木づかい県民会議HPに掲載予定)

## 6. 問合せ先

徳島県木材協同組合連合会(県産材輸出サポートセンター総合窓口)

TEL:088-662-2521/FAX:088-662-2224

徳島県農林水産部林業戦略課新次元プロジェクト推進室 木材需要担当

TEL:088-621-2484/FAX:088-621-2861



# 愛媛県

## 1. 取組の概要・状況

- ・愛媛県では、少子化等の要因により国内の木材需要が減少することが予測される中、将来の有望な市場として平成25年度から製材品の海外輸出に取り組んでいる。
- ・国内の販路開拓に実績のある「愛媛県産材製品市場開拓協議会」(構成員:業界団体2・製材工場等13社)と連携し、海外の展示会の出展や現地営業担当者を活用した営業活動を展開している。
- ・県では、「県産材輸出支援事業(予算額15,026千円)」により、海外の展示会出展や営業活動経費、邸別プレカット材や内装材の輸出経費について支援を行っている。

## 2. 輸出のターゲット

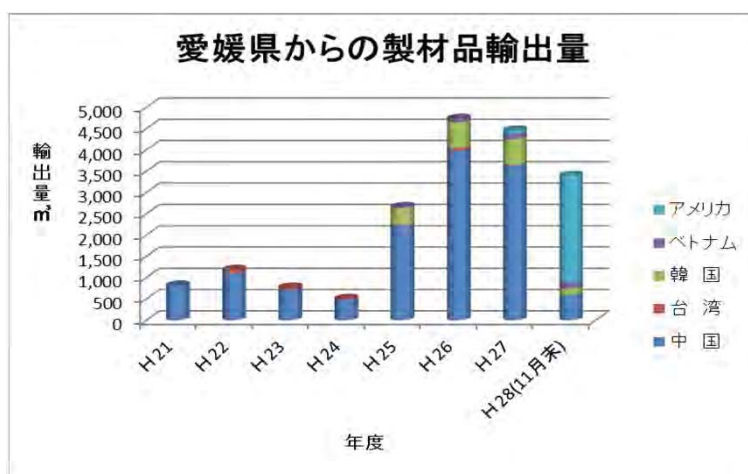
- ・対象国:中国・韓国・台湾
- ・輸出品目:構造材・内装材等の製材品及びプレカット加工材
- ・利点:県内への経済波及効果を高めるため、丸太より加工度の高い製材品等を輸出している。



ヒノキ原木に係る商談の様子

## 3. 輸出に向けた取組の成果

- ・支援を始めた平成25年度から県内製材品の輸出量が大きく伸びている。
- ・輸出先の要望量に応えるため、複数の製材会社が連携し、同サイズの板材を生産し、乾燥専門工場で仕上げる共同出荷体制が構築されている。
- ・県内企業が、商社等と連携し、新たな海外ユーザーに対し試験的輸出を指向するなど木材輸出に対する気運が高まっている。



## 4. 今後の展開

今後は、経済成長の著しい東南アジアや旺盛な木材需要が見込まれる北米地域に対して、新たに市場調査や営業活動を推進するとともに、木造住宅を指向する国に対して、軸組工法による木造住宅の普及・PRを強化することとしている。

## 5. 問合せ先

愛媛県 農林水産部 森林局 林業政策課 木材流通戦略係 真鍋  
TEL:089-912-2589 FAX:089-912-2594  
E-mail:manabe-fumiya@pref.ehime.lg.jp

# 高知県

## 1. 取組の概要・状況

- ・協議会の設置状況  
土佐材流通促進協議会 会員:40社、団体(内輸出部会:14社、団体)
- ・取組の背景・経緯  
県産材の外商対策を積極的かつ効果的に展開し、県産材の県外市場への販売量拡大を目的として設置した土佐材流通促進協議会に、県内事業体の輸出に向けた取組を推進するための輸出部会を設置し、県の支援事業を活用した取組を展開。
- ・輸出に向けた取組・支援  
高知県県産材輸出促進事業 (H27: 4,100千円)  
事業内容 同協議会及び構成員が行う、営業商談、バイヤーの招へい、輸出仕様製品の開発及び試作品の出荷への支援。



韓国での商談会

## 2. 輸出のターゲット

- ・対象国  
韓国・台湾・ベトナム・フィリピンなど
- ・輸出を促進しようとしている製品  
県内で加工された製材品、家具・建具の木製品木工製品等

## 3. 輸出に向けた取組の成果

- ・取組  
県支援事業を活用し、平成28年度(12月末まで)に県内の12事業体が海外57事業体と営業商談・バイヤー招へいに係る事業を展開(事業ごとの集計のため事業体数は一部重複有り)。
- ・成果  
輸出先国にて営業商談を行ったところ、事業期間中に1件の商談が成立(そのほか、見積り依頼など複数)。

## 4. 今後の展開

- ・営業、商談等支援の事業の継続
- ・協議会による海外木材見本市への出展
- ・海外PR物件への支援 など

## 5. ウェブサイト

高知県 林業振興・環境部 木材産業振興課  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/>

## 6. 問合せ先

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号  
高知県 林業振興・環境部 木材産業振興課  
販売促進担当 中城・二宮  
TEL :088-821-4858 FAX :088-821-4594



台湾バイヤーの招へい

# 福岡県

## 1 取組の概要・状況

- ・ 生産量の少ない福岡県、佐賀県、長崎県の3県で連携し、3県の中心に位置する、伊万里港からの輸出に取り組む。
- ・ 輸出向け木材のロットの確保と安定供給に取り組み、現地バイヤーに対する価格交渉力の向上を実証し、県産材の輸出拡大を図るもの。
- ・ 福岡県では、国内輸送費に対する支援を実施。

[事業名] 県産材輸出促進対策事業

[事業主体] 福岡県産材輸出促進協議会  
(県内の森林組合等から成る協議会を設置)

[目標量] 3,700m<sup>3</sup>/年

[事業期間] 平成27～29年度

[事業費等] 3,112千円  
(協議会の取り組む輸出に対し、700円/m<sup>3</sup>を補助)



伊万里港における原木集積状況

## 2 輸出のターゲット

[輸出先国] 中国、韓国

[樹種] スギ、ヒノキ(原木丸太)

[材の規格等]

- ・ 中国向けに、C材を輸出(パレット材、梱包材等の需要)
- ・ 韓国向けに、B材を輸出(内装材、家具材等の需要)

## 3 輸出に向けた取組の成果

- ・ 3県で連携した輸出向け木材の出荷を行うことで、ロットの確保と安定供給が図られている。
- ・ 輸出による収益は山元へ還元され、森林組合においても販路の1つとして位置づけが成されるなど、気運の醸成につながっている。

## 4 今後の展開

- ・ 引き続き、ロットの確保と安定供給を図るため、3県連携による木材輸出に取り組み、価格交渉力向上の実証を図る。
- ・ 輸出先国における日本産木材への志向や現地実需者のニーズの把握に努める。
- ・ 中国における良質材や、韓国におけるスギ材利用の需要開拓を図る。



伊万里港における原木積込状況



原木のバルク船への積込状況

## 5 問合せ先

福岡県農林水産部輸出促進課 中川 TEL:092-643-3525

# 佐賀県

## 1. 取組の概要・状況

・平成26年9月、九州北部3県(福岡、佐賀、長崎)が連携することにより、木材輸出や大型工場、木質バイオマス発電施設への大ロット出荷や安定供給の可能性などを研究する「FNS原木出荷連携に向けた研究会」を立ち上げ、輸出の可能性や課題を整理検討し実践する。

・協議会の設置状況

[名称]FNS原木出荷連携に向けた研究会

[主な構成員]福岡県、福岡県森林組合連合会、佐賀県、佐賀県森林組合連合会、長崎県、長崎県森林組合連合会



FNS原木出荷連携に向けた研究会、取材を受けている様子

## 2. 輸出のターゲット

中国(スギ・ヒノキC材)、韓国(ヒノキB材)



材積み込み状況

## 3. 輸出の実績

県名	H26	H27	計
福岡県	0m <sup>3</sup>	1,102m <sup>3</sup>	1,102m <sup>3</sup>
佐賀県	42m <sup>3</sup>	0m <sup>3</sup>	42m <sup>3</sup>
長崎県	20,338m <sup>3</sup>	17,192m <sup>3</sup>	37,530m <sup>3</sup>
計	20,380m <sup>3</sup>	18,294m <sup>3</sup>	38,674m <sup>3</sup>

※H28.4月～H29.1月末現在 1,555m<sup>3</sup>(佐賀県分)

・中国(スギ・ヒノキC材) 1,084m<sup>3</sup>

・韓国(ヒノキB材) 471m<sup>3</sup>

## 4. 今後の展開

丸太だけではなく、付加価値のある製材品についても輸出を検討。

## 5. 問合せ先

【担当者】佐賀県 農林水産部 林業課 林産振興担当 下田 TEL:0952-25-7133

# 長崎県

## 1. 取組の概要・状況

### ①長崎県地域材供給倍増協議会

- ・県内川上から川下までの関係者54者からなる協議会
- ・県産材の流通・需給マッチングを行う協議会として、平成26年6月に発足。輸出に関して、共同出荷の調整などを行っている。

### ②FSN(福岡・佐賀・長崎)原木出荷連携に向けた研究会

- ・発足のきっかけ:九州北部三県は南九州に比較し素材生産量も零細。中国や韓国などの木材需要の拡大に伴い、輸出ロットの拡大は必須であるため、三県の関係者の連携を促進するため研究会を立ち上げた。
- ・研究会のメンバー:福岡県、佐賀県、長崎県  
福岡県、佐賀県及び長崎県の県森林組合連合会

### ③輸出に向けた県の支援

- ・海外フェア等への製材品の出展経費補助(製品輸送費補助)
- ・補助率:実費



積み込み、出荷状況



三県連携研究会

## 2. 輸出のターゲット

中国:丸太

韓国:丸太、製材品(ラミナ)

## 3. 輸出に向けた取組の成果

韓国最大の住宅フェア、「キョンハンハウジングフェア」にこれまで県内3社が製品を展示・PR。具体的な商談は成立しなかったが、県産ヒノキ製品の普及に繋がった。

## 4. 今後の展開

- ・中国、韓国に次ぐ輸出相手国として、ベトナムをターゲットとして、事業者と合同で現地需要調査、商談を実施予定。
- ・製材品の輸出拡大を図っていく。

## 5. 問合せ先



〒850-8570  
長崎県長崎市江戸町2-13  
長崎県農林部林政課計画調整班  
TEL:095-895-2983 FAX:095-895-2596



「キョンハンハウジングフェア」  
製品展示

# 熊本県

## 1. 取組の概要・状況

### <取組の背景・経緯>

- ・ 県産木材(特に製材品)の輸出促進を図るに当たっては、各国における住宅環境の違いによる『規格の違い』や『現地での大きな価格差』などが大きな課題となる。
- ・ 一方、日本食ブームや来日観光客の増加などを背景に、食品だけでなく、建築を含めた『日本文化』への関心が高まる中、熊本県においては、県産木材や県産畳表を使用した『和室』としての輸出促進を図るため、アジア諸国における『和室』輸出の可能性について平成28年度から調査している。

### <取組の概要(平成28年度)>

- ・ 海外展示会出展による、マーケット調査
- ・ クルーズ船寄港客に対するニーズ調査
- ・ 試験輸送による検疫等課題検証 など



H28.12.15~18

台北ビルディングショー出展

## 2. 輸出のターゲット

### <ターゲット国>

- ・ 東アジア地域(中国・台湾・香港)及びASEAN地域

### <ターゲット層>

- ・ 富裕層のマンション及び高級ホテル(リフォーム・和室キット)
- ・ 商業施設及び飲食店(内装)

## 3. 事業実施上の課題

- ・ 「和室」の輸出を行う上での各国の規制(検疫等)対策及び高関税
- ・ 現地の需要家(輸入業者・デベロッパー・建築士など)とのネットワーク構築
- ・ 現地での施工管理・労務の確保
- ・ 熊本地震の影響による地元の大工不足



クルーズ船寄港客に対する  
ニーズ調査

## 4. 輸出に向けた取組の成果

- ・ 中国向け、台湾向け、香港向け、それぞれ県内事業者のグループが構築されるとともに、現地需要家(輸入業者、デザイナー等)とのネットワークが構築でき、海外展開に向けて調整を行っているところ。

## 5. 今後の展開・対策

### <県内事業者がチャレンジしやすい環境づくり>

- ・ 1事業者では収集できない各国の情報収集や検疫等の課題を整理し、県内事業者への情報発信を行う。

### <県内事業者間の連携強化及び産地体制づくり>

- ・ 木材及び建築、畳、建具等複数の産業間の連携が不可欠であることから、県内事業者間のネットワーク強化と海外展開に向けた産地体制づくりを推進する。

### <「熊本県政府」としての海外ネットワーク構築>

- ・ 「熊本県(地方政府)」として参画することで、海外需要家との信頼関係を構築し、「和室」の海外展開に必要なネットワークを構築する。

## 6. 問合せ先

熊本県農林水産部森林局林業振興課

くもと木材利活用推進班 担当:大和・鳥居(TEL:096-333-2446)

# 大分県

## 1. 取組の概要

《製材品》について

- ・ 輸出に取り組む業者数 4社
- ・ 九州材販路開拓事業 事業費6,000千円(H28)にて、次の助成を行っている。
  - ① コンテナ輸送に係る経費の一部を補助
  - ② 海外の展示会への出展経費の一部を補助

《素材(丸太)》について

- ・ 「大分県スギ丸太等海外輸出促進協議会」を設立(H20)  
(木材関連業者、森林組合等)
- ・ 中国向け輸出への燻蒸経費の補助など(上記事業でH27まで)

## 2. 輸出に向けた取組の成果

《製材品》について

H27から韓国向け輸出に取り組む業者があり、輸出量は増加した。

	(m <sup>3</sup> )	
輸出先	H26	H27
韓国	3	788
フィリピン	1,885	1,924
その他	0	50
計	1,888	2,762

《素材(丸太)》について

主に中国の需要が旺盛なため、輸出量は増加している。

	(m <sup>3</sup> )	
輸出先	H26	H27
中国	47,308	56,284
その他	4,101	2,019
計	51,409	58,303

## 3. 今後の展開

《製材品》について

H29も引き続き九州材販路開拓事業にて、次の助成を行う。

- ・ コンテナ輸送に係る経費の一部を補助
- ・ 海外の展示会への出展経費の一部を補助
- ・ ジェトロと共同し研修会を開催



丸太輸出(バルク船搬入状況)

## 4. 問合せ先

大分県農林水産部林産振興室木材振興流通対策班  
担当 松本  
TEL:097-506-3833

# 宮崎県

## 1. 取組の概要・状況

- ・丸太の輸出だけでなく、より付加価値の高い製品の輸出を進めるため、住宅の部材利用が進むよう材料と建築構法を合わせた「材工一体」のパッケージとして、相手国の建築士や工務店の関係者に普及を図る必要がある。
- ・輸出に向けた取組・支援として、韓国での木造軸組構法の普及を図るため、県単独事業で県産材海外輸出トライアル推進事業（10,866千円）に取り組んでいる。



県産材を使用した韓屋（韓国ソウル）

## 2. 輸出のターゲット

韓国では伝統家屋として韓屋（ハノク）と呼ばれる軸組構法に近い建築様式があり、木造軸組構法に親和性があるため韓国をターゲットにしている。さらに、より付加価値の高いプレカットされた部材は、建設工期の短縮などコスト削減に寄与する。

## 3. 輸出に向けた取組の成果

構法を普及させるため、韓国国内4箇所でも木造軸組構法入門セミナーを開催し、総勢500名を超える聴講を得た。そのうち、さらに詳しい現場状況など学ぶため2月に宮崎県内で実務的な研修を実施。



韓国建築技術者への研修状況（H29.2.16）

## 4. 今後の展開

韓国で得た知見や相手国のニーズを基に、「材工一体」による木造軸組構法の普及等を進めることで、今後、台湾、中国、ベトナムなどへ展開を図る。

## 5. 問合せ先

宮崎県環境森林部山村・木材振興課  
みやざきスギ活用推進室 木材利用拡大担当 田中・戸田  
TEL: 0985-26-7156 / FAX: 0985-28-1699



# 鹿児島県

## 1. 取組の概要・状況

森林資源の充実に伴い、素材生産量の増加が見込まれる中、当県は、中国等東アジアに近く、また国際物流拠点である「志布志港」を有する等地理的優位性から、木材輸出を木材利用の重要な手段のひとつとして位置づけ、早くから輸出体制の整備等に取り組んでいる。

平成20年度から、輸出拡大に向けた各種取組に対して支援を行うとともに、平成23年には、県森林組合連合会等9団体により構成される「鹿児島県産材輸出促進協議会」を設立し、輸出関係者の情報共有及び連携強化を図っている。

[県産材輸出拡大支援事業]

(H28予算額)4,788千円

(補助率)協議会:定額, 輸出支援:1/2以内

(事業内容)鹿児島県産材輸出促進協議会の活動支援及び輸出関係事業者の商談経費等の一部助成



志布志港第2突堤



志布志港でスギ原木が  
バルク船に積み込まれる様子

## 2. 輸出のターゲット

### ・相手国

木材需要の旺盛な東アジア地域(中国, 韓国, 台湾)

### ・利点

中国等に近いという地理的優位性に加え、志布志港を有するため木材輸出に適したバルク船をチャーターしやすい。また、豊富な森林資源を有するとともに、隣県を含め広域的な集荷が可能であり、短期間に集荷、輸出することで流通コストを抑えられる。



ヒノキ原木がコンテナに積み込まれる様子

## 3. 輸出拡大に向けた取組の成果

平成27年度の県産材輸出量は87千 $m^3$ となり、輸出量は平成21年度の3千 $m^3$ から約30倍に増えた。

また、県産材を輸出する業者も平成21年度3者から平成27年度は14者に増えた。

(輸出量、輸出業者数は鹿児島県調べによる)

## 4. 今後の展開

現在は、土木資材や梱包に使用されるスギ原木(低質材)の輸出が大半を占めるが、今後は、付加価値の高い良質材等の輸出拡大を図ることとしている。

また、県産材の認知度向上及び更なる輸出拡大を図るため、県産材の輸出に積極的に取り組む輸出関係事業者を「鹿児島県産材輸出サポーター」として登録(平成29年2月末現在:17社)し、輸出に関する情報の共有を図っており、今後も輸出拡大に向けて連携強化を図っていくこととしている。

## 5. 問合せ先

鹿児島県環境林務部かごしま材振興課木材利用推進係 TEL:099-286-3366



連絡先: 林野庁 林政部 木材利用課 需給情報班

住所: 〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

直通: 03-6744-2299

本資料は、以下の林野庁のホームページに掲載しております。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>